# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

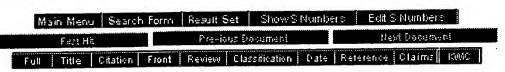
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

Help Logout



Document Number 25

Entry 25 of 86

File: DWPI

Oct 19, 1999

DERWENT-ACC-NO: 2000-009073

DERWENT-WEEK: 200001

COPYRIGHT 2000 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Processor of electronic-mail redirector - checks whether mail is from predefined list of persons and accordingly makes call to particular location defined by user

PATENT-ASSIGNEE: MATSUSHITA DENKI SANGYO KK[MATU]

PRIORITY-DATA:

1998JP-0089932

April 2, 1998

PATENT-FAMILY:

PUB-DATE PUB-NO

LANGUAGE PAGES MAIN-IPC

JP 11289346 A October 19, 1999 N/A

005 H04L012/54

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DESCRIPTOR

APPL-NO

APPL-NO

JP 11289346A April 2, 1998

1998JP-0089932

N/A

INT-CL (IPC): G06F 13/00; H04L 12/54; H04L 12/58; H04M 3/42; H04M 11/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11289346A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The redirector receives the mail through a communication unit (11). The CPU (14) checks whether the mail is from any of the persons whose names are stored in a memory (15). If the check is true, the CPU then makes a call through the call apparatus (12) to a particular location defined by the user. Then, the speech synthesizer reads out the mail message in a tone defined previously by the user.

USE - In electronic-mail redirector.

ADVANTAGE - The user can nominate the persons whose messages have to be redirected by speech synthesis. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure depicts block diagram showing hardware component of terminal equipment. (11) Communication unit; (12) Call apparatus; (14) CPU; (15) Memory.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/6

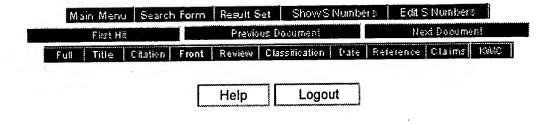
DERWENT-CLASS: T01 W01

TITLE-TERMS: PROCESSOR ELECTRONIC MAIL CHECK MAIL PREDEFINED LIST PERSON ACCORD CALL LOCATE DEFINE USER

EPI-CODES: T01-H; W01-A03B; W01-A06G2; W01-C02B; W01-C05;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-008302



(19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

#### (11)特許出寫公園香号

### 特開平11-289346

(43)公開日 平成11年(1999)10月19日

(51) Int.CL4		禁別配号		ΡI					
H04L	12/54		1	HO4L	12	/20	101	В	
	12/58			G06F	13	/00	351	G	
G08P	13/00	3 5 1	1	H04M	3	/42	•	Ş	
H 0 4 M	3/42			•	13	/00	303		
	11/00	303							
				富五倍	求	来說求	額求項の数2	OL	(全 5 頁)

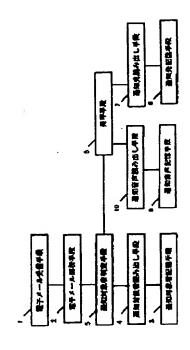
(21)出資番号	特蔵平10-89932	(71)出顧人 00	0005821
<b>(-112-14</b>		松	下電器産業株式会社
(22)出顧日	平成10年(1998)4月2日	<b>*</b>	医府門真市大字門真1006番地
		(72)発明者 鏡	ヶ江 秀樹
		大	医府門真市大字門真1006番地 松下電器
		<b>*</b>	<b>梨株式会社内</b>
		(74)代章人 弁	建士 撤本 智之 (外1名)

#### (54)【発明の名称】 端末装置

#### (57)【要约】

【課題】 通知対象者からの電子メールが受信された場合にのみ、電子メールを受信したことを通知することが可能となることを目的とする。

【解决手段】 電子メールを受信する電子メール受信手段1と、前記電子メール受信手段1により受信したメールを解析する電子メール解析手段2と、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段3と、前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者制定手段5と、ユーザの携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段6と、前記電子メール受信手段1によって受信されたメールが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者からのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段8を有する。



#### 【特許請求の範囲】

ことを特徴とする端末装置。

[ 詣求項 ] ] 電子メールを受信する電子メール受信手段 と、前記電子メール受信手段により受信したメールを解 析する電子メール解析手段と、通知対象者を記憶する通 知対象者記憶手段と、剪記通知対象者記憶手段より通知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、解記電子メ ール解析手段で解析された結果が前記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、削記通知 先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知先該 10 出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記通知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、解記通知先 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶す る通知音声記憶手段と、前記通知音声記憶手段に記憶さ れている音声を読み出す通知音声読出し手段とを有する

【論求項2】電子メールを受信する電子メール受信手段 析する電子メール解析手段と、通知対象者を記憶する通 知対象者記憶手段と、前記通知対象者記憶手段より通知 対象者を読み出す通知対象者読出し手段と、前記電子メ ール解析手段で解析された結果が前記通知対象者記憶手 段に記憶されているかどうか判定を行う通知対象者判定 手段と、通知先を記憶する通知先記憶手段と、前記通知 先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知先読 出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信され たメールが、前記通知対象者判定手段によって通知対象 者からのメールであると判断された場合に、前記通知先 30 記憶手段に記憶されている通知先に発呼する発呼手段 と、発呼した際にユーザに対して前記電子メール受信手 段が受信した電子メールの情報を音声合成して出力する 音声合成手段とを有することを特徴とする鑑末装置。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の肩する技術分野】本発明は、電子メールなどを 受信可能な端末鉄置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】現在、市場を賑わせているパーソナルコ 40 ンピュータや携帯情報鑑末装置には、電話やファクス等 の通信機能が備わっているものが多い。逆に、電話等の 鑑末鉄畳には、電話としての機能だけでなく、通信機能 を利用してインターネット上の情報をWorld Wide Webブ ラウザを用いて閲覧したり、電子メールのやり取りが可 能なものまで存在している。

【0003】そのような端末装置において、電子メール を受信した場合、予めユーザによって設定された通知先 に発呼して、電子メールを受信したことを通知する機能 を有するものがあるが、通知する必要のない相手からの 50 飽となるという作用を有する。

電子メールが届いた場合でも通知していた。 [0004]

【発明が解決しようとする課題】このような端末鉄置で は、通知して欲しい相手からの電子メールが受信された 場合にのみ、ユーザに対して運知する手段が必要とされ ている。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明の鑑末装置は、電 子メールを受信する電子メール受信手段と、電子メール 受信手段により受信したメールを解析する電子メール解 析手段と、ユーザが通知して欲しい人(通知対象者)か ちのメールを受信した場合にのみ運知するようにするた め、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段と、通知 対象者記憶手段より通知対象者を読み出す通知対象者読 出し手段と、電子メール解析手段で解析された結果が通 知対象者記憶手段に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段と、ユーザの携帯電話等の通知先を 記憶する運知先記述手段と、通知先記憶手段に記憶され ている運知先を読み出す通知先読出し手段と、電子メー と、前記電子メール受信手段により受信したメールを解 20 ル受信手段によって受信されたメールが、通知対象者判 定手段によって通知対象者からのメールであると判断さ れた場合に、通知先記憶手段に記憶されている通知先に 発呼する発呼手段と、発呼した際にユーザに対して運知 する音声を記憶する通知音声記憶手段と、通知音声記憶 手段に記憶されている音声を読み出す通知音声読出し手 段とを有する。

[0006]

【発明の実施の形態】本発明の請求項に記載の発明は、 電子メールを受信する電子メール受信手段と、前記電子 メール受信手段により受信したメールを解析する電子メ 一ル解析手段と、ユーザが通知して欲しい人(通知対象 者) かちのメールを受信した場合にのみ通知するように するため、通知対象者を記憶する通知対象者記憶手段 と、前記運知対象者記憶手段より運知対象者を読み出す 通知対象者読出し手段と、前記電子メール解析手段で解 析された結果が前記通知対象者記憶手段に記憶されてい るかどうか判定を行う通知対象者判定手段と、ユーザの 携帯電話等の通知先を記憶する通知先記憶手段と、剪記 通知先記憶手段に記憶されている通知先を読み出す通知 先読出し手段と、前記電子メール受信手段によって受信 されたメールが、前記通知対象者判定手段によって通知 対象者からのメールであると判断された場合に、前記通 知先記憶手段に記憶されている運知先に発呼する発呼手 段と、発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶 する通知音声記憶手段と、 蔣記運知音声記憶手段に記憶 されている音声を絞み出す通知音声読出し手段とを有す ることにより、通知して欲しい相手(通知対象者)から の電子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して 発呼し、電子メールを受信したことを通知することが可

【0007】以下、本発明の実施の形態について、図1 から図4を用いて説明する。

(実施の形態])図1は、本発明の実施の形態]におけ る端末装置の機能を示す機能プロック図である。

【0008】1は電子メールを受信する電子メール受信 手段。2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段、3はユーザが運知 して欲しい人 (通知対象者) からのメールを受信した場 台にのみ通知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記通知対象者記憶手段3 10 より通知対象者を読み出す通知対象者聽出し手段、5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段、6はユーザの携帯電話等の通知先 を記憶する通知先記憶手段。7は前記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先読出し手段、 8は前記電子メール受信手段1によって受信されたメー ルが、前記通知対象者判定手段5によって通知対象者か らのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶 手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段、9 20 は発呼した際にユーザに対して通知する音声を記憶する 通知音声記憶手段、1()は前記通知音声記憶手段9に記 **佐されている音声を読み出す通知音声読出し手段であ** 

【①①①3】図2は本発明の実施の形態における端末装 置のハードウェア構成を示す装置ブロック図である。

【00】0】通信デバイス】】は電子メール等の通信を 可能にするものである。発呼装置12は電話によって外 部への発呼を可能にする。 リードオンリメモリ13は中 央処理装置14によって処理実行されるプログラムが格 30 納されている。ランダムアクセスメモリ15には入力装 置から読み込んだデータや、プログラムの実行によって 作成されるデータ等が格納される。

【()() 11】以下、本発明の実施の形態の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図3をもとに説明する。

[()()12]図3は本発明の実施の形態1における鑑末 装置が発呼するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップSIでは、電子メール受信手段1によって 電子メールが受信されたかどうかの判定を行う。受信さ 40 れた場合はステップS2に進むが、受信されなかった場 台は受信されるまで待つ。ステップS2では、ステップ S1において受信された電子メールを電子メール解析手 段2を用いて解析する。ステップS3では、通知対象者 読出し手段4を用いて、通知対象者記憶手段3から通知 対象者を読み出す。ステップS4では、通知対象者判定 手段5により、ステップS1で受信された電子メールが ステップS3で読み出された通知対象者からの電子メー ルであるかどうかの判定を行う。もし通知対象者からの メールであった場合はステップSSに進むが、そうでな「50」テップSl0において受信された電子メールを電子メー

い場合は、ステップSIの前に戻り電子メールの受信を 待つ。ステップS5では、通知先終出し手段7を用いて 通知先記憶手段6から通知先を読み出す。ステップS6 では、ステップSSにおいて読み出された通知先に対し て発呼を行う。ステップS7では、通知竜声記憶手段9 内に記憶されている「電子メールを受信しました」等の 通知メッセージを、通知音声統出し手段 150 を用いて統 み出す。ステップS8では、ステップS7において鉄み 出された通知メッセージを出力する。

【0013】図4は、本発明の実施の形態における編末 装置の動作例を示す図である。蝗末装置が電子メールを 受信し、その電子メールが通知して欲しい相手(通知対 泉者) からの電子メールであると判断された場合にの お、回線に対して発呼動作を行い、ユーザに電子メール を受信したことを通知する。

[()()14] (実施の形態2)図5は本発明の実施の形 ※2における端末装置の機能を示す機能ブロック図であ

【0015】1は電子メールを受信する電子メール受信 手段、2は前記電子メール受信手段1により受信したメ ールを解析する電子メール解析手段。 3 はユーザが通知 して欲しい人 (通知対象者) からのメールを受信した場 台にのみ運知するようにするため、通知対象者を記憶す る通知対象者記憶手段、4は前記通知対象者記憶手段3 より通知対象者を読み出す通知対象者読出し手段、5は 前記電子メール解析手段2で解析された結果が前記通知 対象者記憶手段3に記憶されているかどうか判定を行う 通知対象者判定手段、6はユーザの携帯電話等の通知先 を記憶する通知先記憶手段、7は繭記通知先記憶手段6 に記憶されている通知先を読み出す通知先験出し手段、 8は蘇記電子メール受信手段1によって受信されたメー ルが、 演記通知対象者制定手段5によって通知対象者か ちのメールであると判断された場合に、前記通知先記憶 手段6に記憶されている通知先に発呼する発呼手段、1 6は、電子メール解析手段2により解析された電子メー ル倫報を音声に変換し、電子メールの発信先、題名、内 容などを読み上げる音声合成手段である。

【0016】本発明の実施の形態2における端末鉄置の ハードウェア構成は実施の形態1と同じであり、説明を

【0017】以下、本発明の実施の形態2の動作につい て、発呼にいたる制御手順を示すフローチャートである 図6をもとに説明する。

【0018】図6は本発明の実施の形態2における端末 装置が発酵するまでの手順を示すフローチャートであ る。ステップS1()では、電子メール受信手段1によっ て電子メールが受信されたかどうかの料定を行う。交信 された場合はステップSIIに進むが、受信されなかっ た場合は受信されるまで待つ。ステップS 1 1では、ス

20.01.91.1

(4)

特闘平11-289346

ル解析手段2を用いて解析する。ステップS12では、 通知対象者読出し手段4を用いて、通知対象者記憶手段 3から通知対象者を読み出す。ステップS 1 3では、通 知対象者判定手段5により、ステップS10で受償され た電子メールがステップS12で読み出された通知対象 者からの電子メールであるかどうかの判定を行う。もし 通知対象者からのメールであった場合はステップS14 に進むが、そうでない場合は、ステップS10の前に戻 り電子メールの受信を待つ。ステップS14では、通知 先読出し手段7を用いて通知先記憶手段6から通知先を 10 するまでの手順を示すフローチャート 読み出す。ステップS15では、ステップS14におい て読み出された通知先に対して発呼を行う。ステップS 16では、電子メール解析手段2により解析された電子 メール情報を音声合成手段により音声化し、ステップS 17においてその電子メールの合成された音声を出力す る.

[0019]

【発明の効果】以上のように本発明によれば、檔末装置 において、通知して欲しい祖手(通知対象者)からの電 子メールが受信された場合にのみ、ユーザに対して選知 20 することが可能となるという、有利な効果が得られる。 【0020】さらに、音声合成により通知してほしいユ ーザーからの電子メールの内容のみを出先で確認するこ とが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1 】 本発明の実施の形態 1 における端末装置の級能 を示す機能ブロック図

\*【図2】本発明の実施の形態における権末装置のハード ウェア様成を示す装置ブロック図

【図3】本発明の実施の形態1における塩末装置が発呼 するまでの手順を示すフローチャート

【図4】本発明の実施の形態における端末装置の助作例 を示す図

【図5】本発明の実施の形態2における鰮末装置の機能 を示す機能ブロック図

【図6】本発明の実施の形態2における鑑末装置が発呼

【符号の説明】

- 1 電子メール受信手段
- 2 電子メール解析手段
- 3 通知対象者記憶手段
- 4 通知対象者設出し手段
- 5 通知対象者判定手段
- 6 通知先記憶手段
- 7 通知先続出し手段
- 8 発鲜手段
- 9 通知音声記憶手段
  - 10 通知音声読出し手段
  - 11 通信デバイス
  - 12 発呼装置
  - 13 リードオンリメモリ
  - 14 中央処理装置
  - 15 ランダムアクセスメモリ
  - 16 音声台成手段

[**[**] 1 ]

電子メール受害子機 名子と一と何女子母 **\$770 新加州北京教皇年代** 湯を対象を終み出しる原 最保証用表み出しませ 豊田北連み返し手袋 46寸户2位于政

[26]

